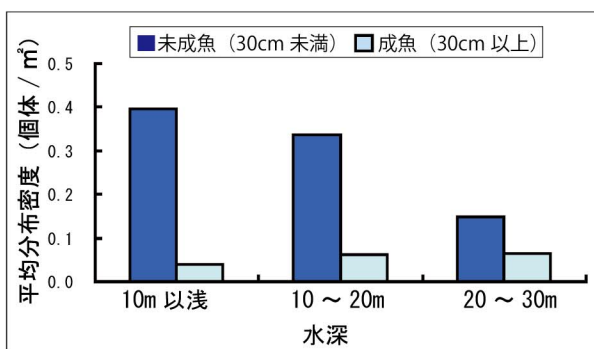


# 生物データベースのご紹介

これまで実施した潜水調査で確認された、JF シェルナースに集まる魚や、シェルナース基質に付着する動物の種類、重量などを、データベース化しました。約 20 年間で得られた、これらのデータを活用した解析事例をご紹介します。

## ●潜水調査で、魚類がどこで、どのくらい確認できたかなどを解析

### キジハタの生息場所は成長段階によって違う？



キジハタの各成長段階における水深別平均分布密度



全長 8cm (水深 5m)

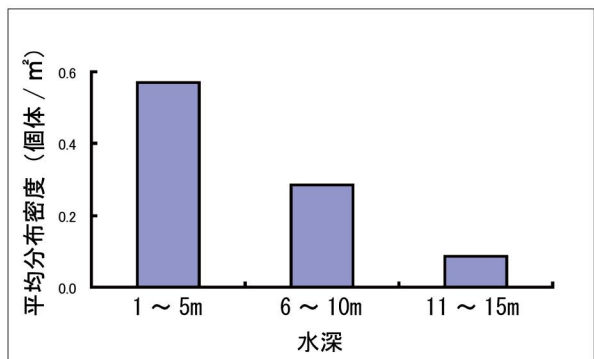


全長 42cm (水深 24m)

浅い場所では未成魚が多いね！  
水深が深くなるにつれて成魚が増えているね！



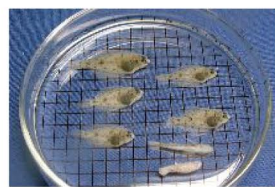
### マコガレイの幼魚はどんな場所にいる？



瀬戸内海海域における水深別マコガレイ平均分布密度  
(全長 5cm 未満)



全長 3cm (水深 5m)



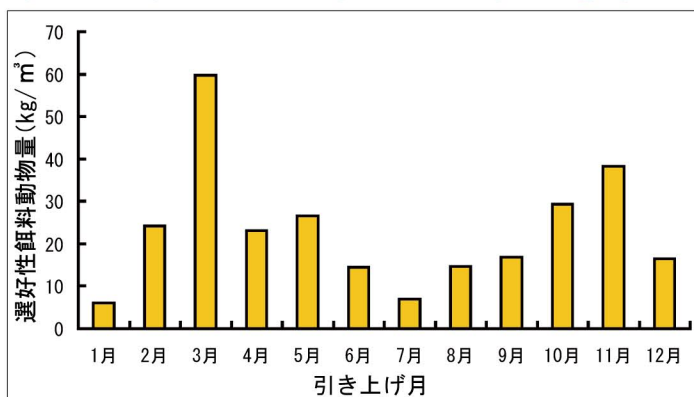
全長 2 ~ 3cm (水深 5m)

浅場に幼魚がたくさんいるぞ！



## ●シェルナース基質から出てきた付着動物のデータを解析

### エビ、カニ、ゴカイ類などの選好性餌料動物量が多い時期は？



瀬戸内海海域における月別選好性餌料動物量 (最大値)

魚介類の餌となるエビ・カニ類は、3月と11月に多く出てきているね！

